

桜の下には
死体が埋まっている

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

幻想影燈籠

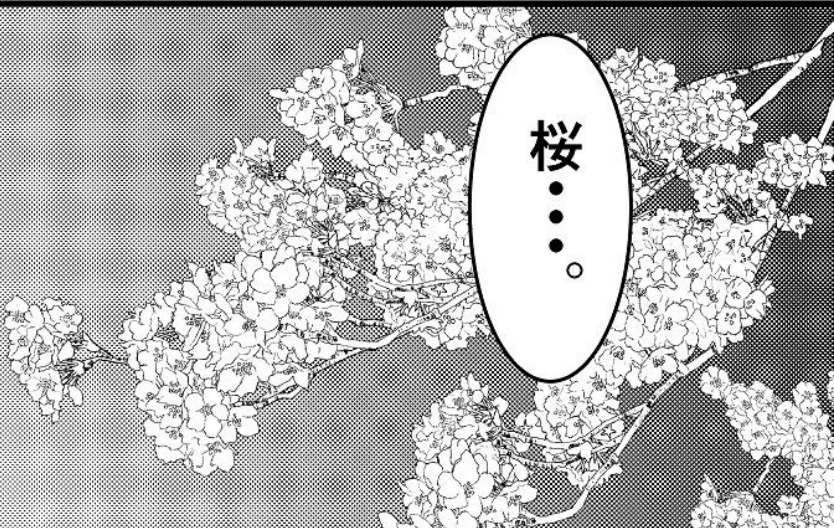




この果実の味を
知ってしまった
あとでは…

もう冬も
近いのにな…

桜…



なぜそんなに
僕を惑わせる

困らせる

答えてくれ

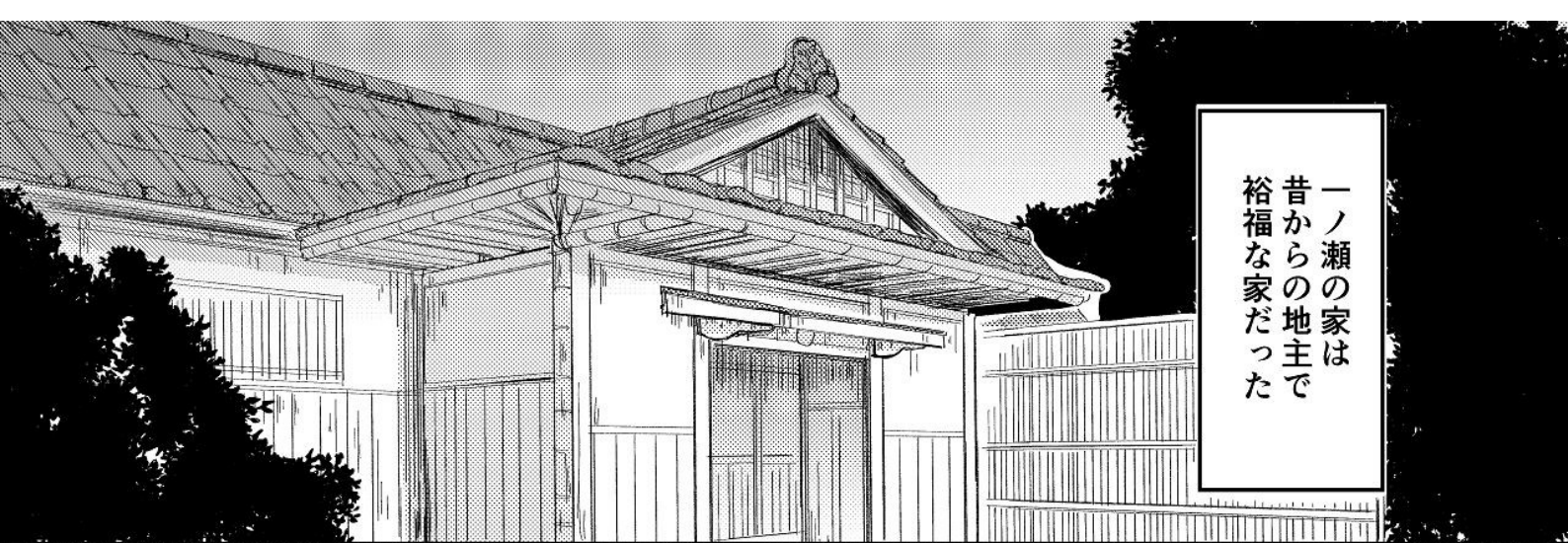
宗一

彼女、
かのこに出会ったのは
7年前の冬が近い
晩秋の頃だった

爺ちゃん
もうボケて
変なことばかり言うんだ
気にしないでくれ

彼は一ノ瀬与一
僕の幼馴染で親友
かのこの兄だ

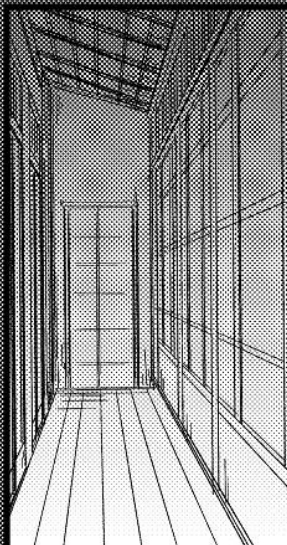
家の中で
かくれんぼしよう



一ノ瀬の家は
昔からの地主で
裕福な家だった



もういいかい



昔からの
大きな家だからか
変な噂も
多い家だった



あそここの部屋に
とりあえず隠れよう

まあだだよ



ガラッ



まあだだよ

もういいかい

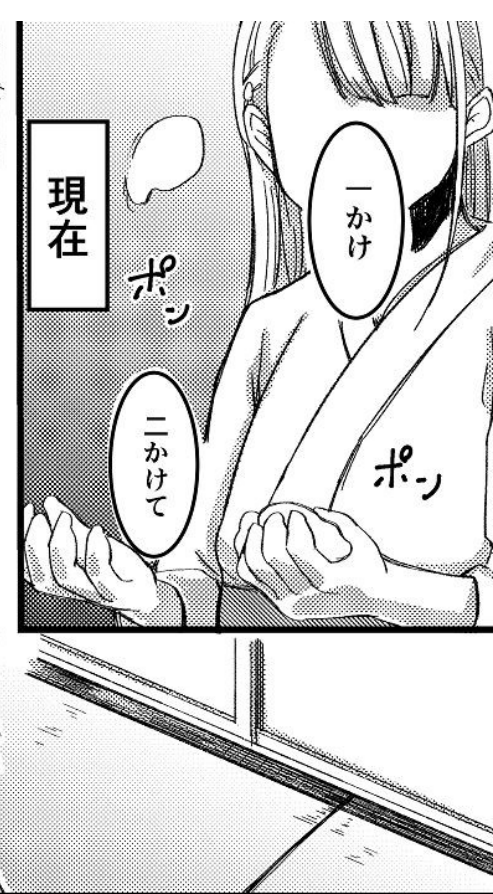
白い肌

誰？

赤い目

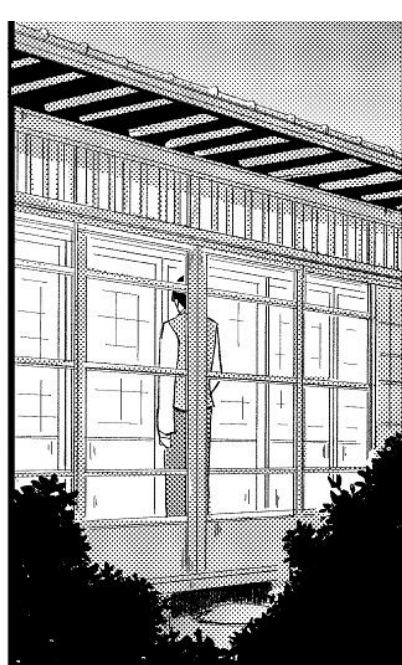
色素の薄い
かのこを始めて見た時
思ったことは

異様な美しさから来る
怖さだった。

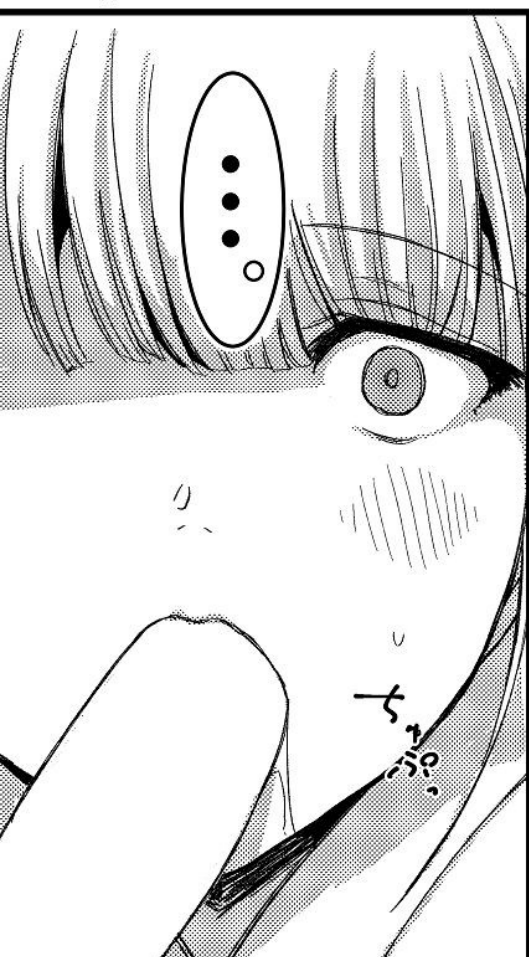




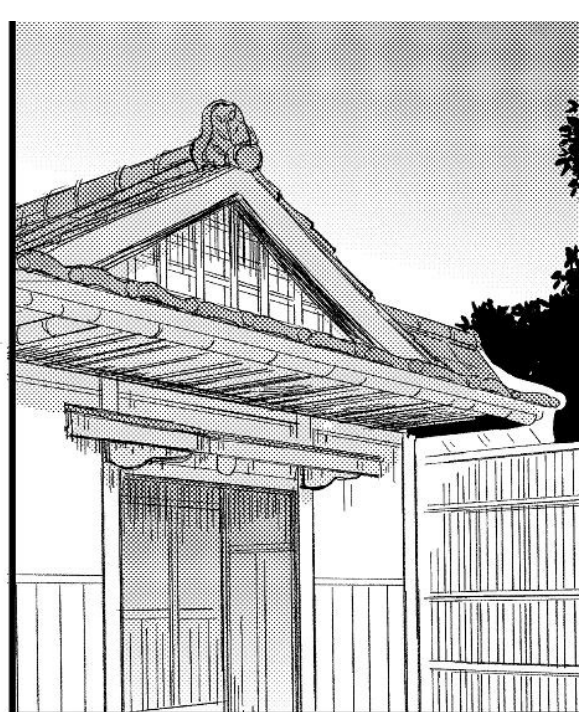




10



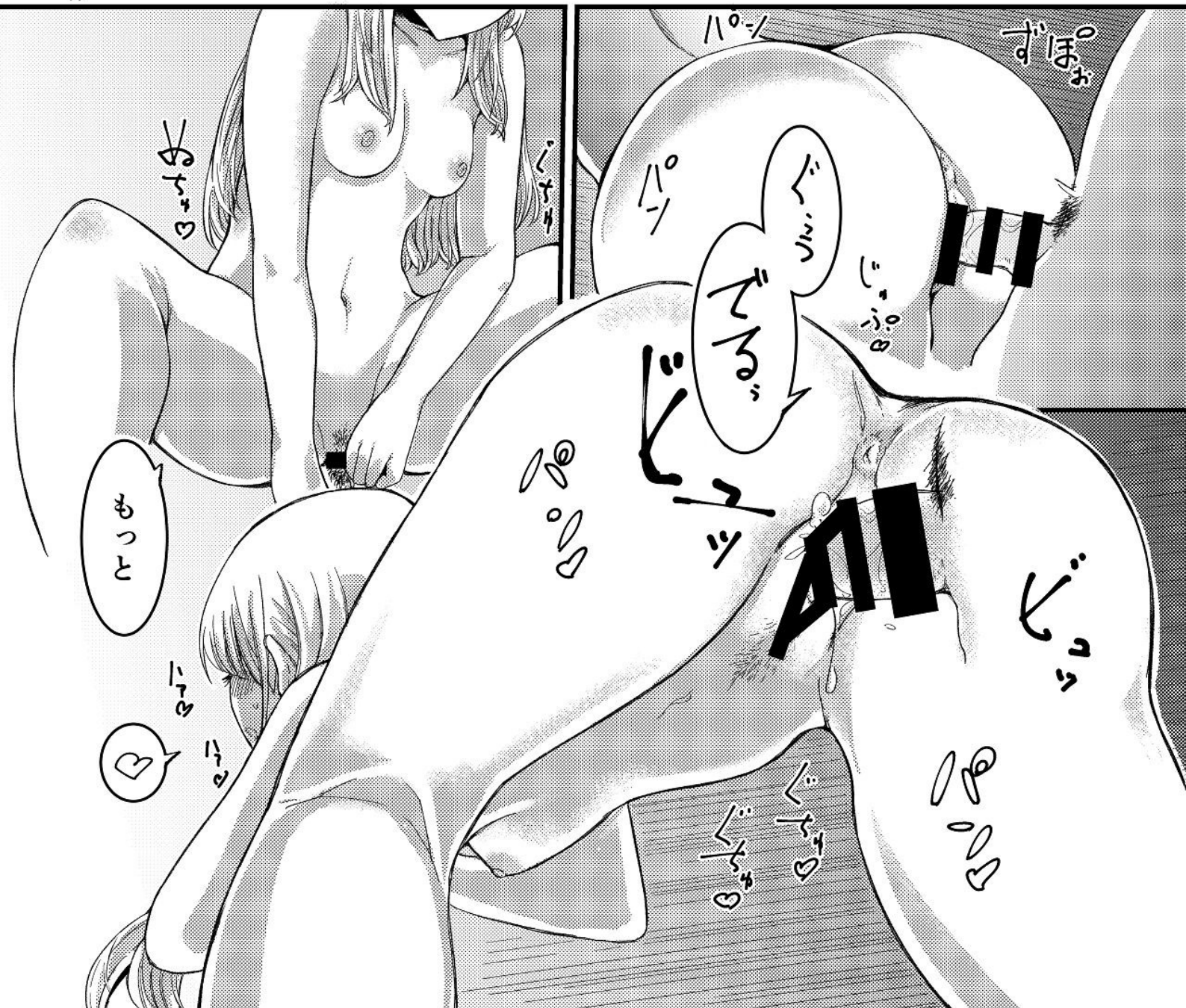




12









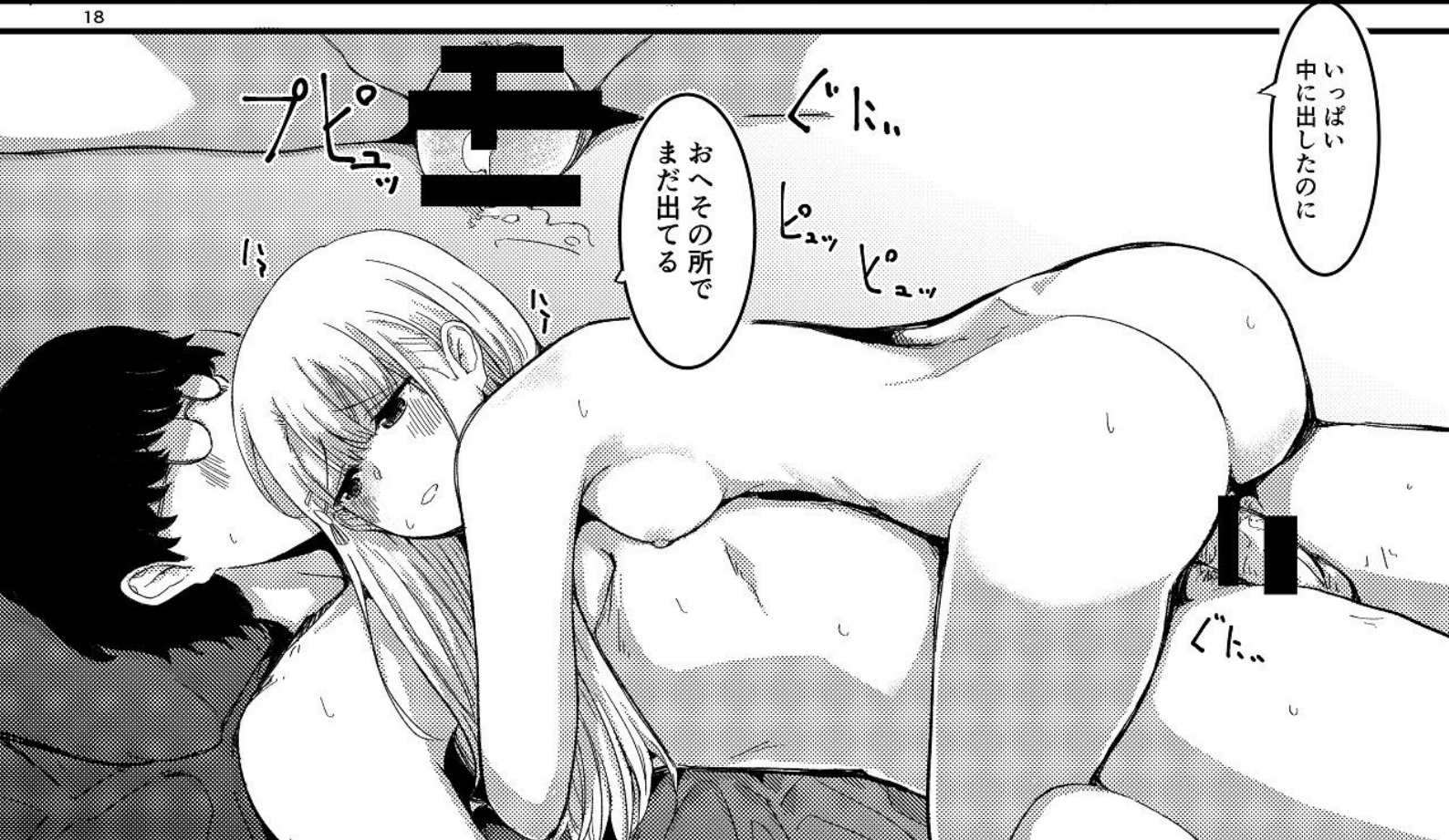
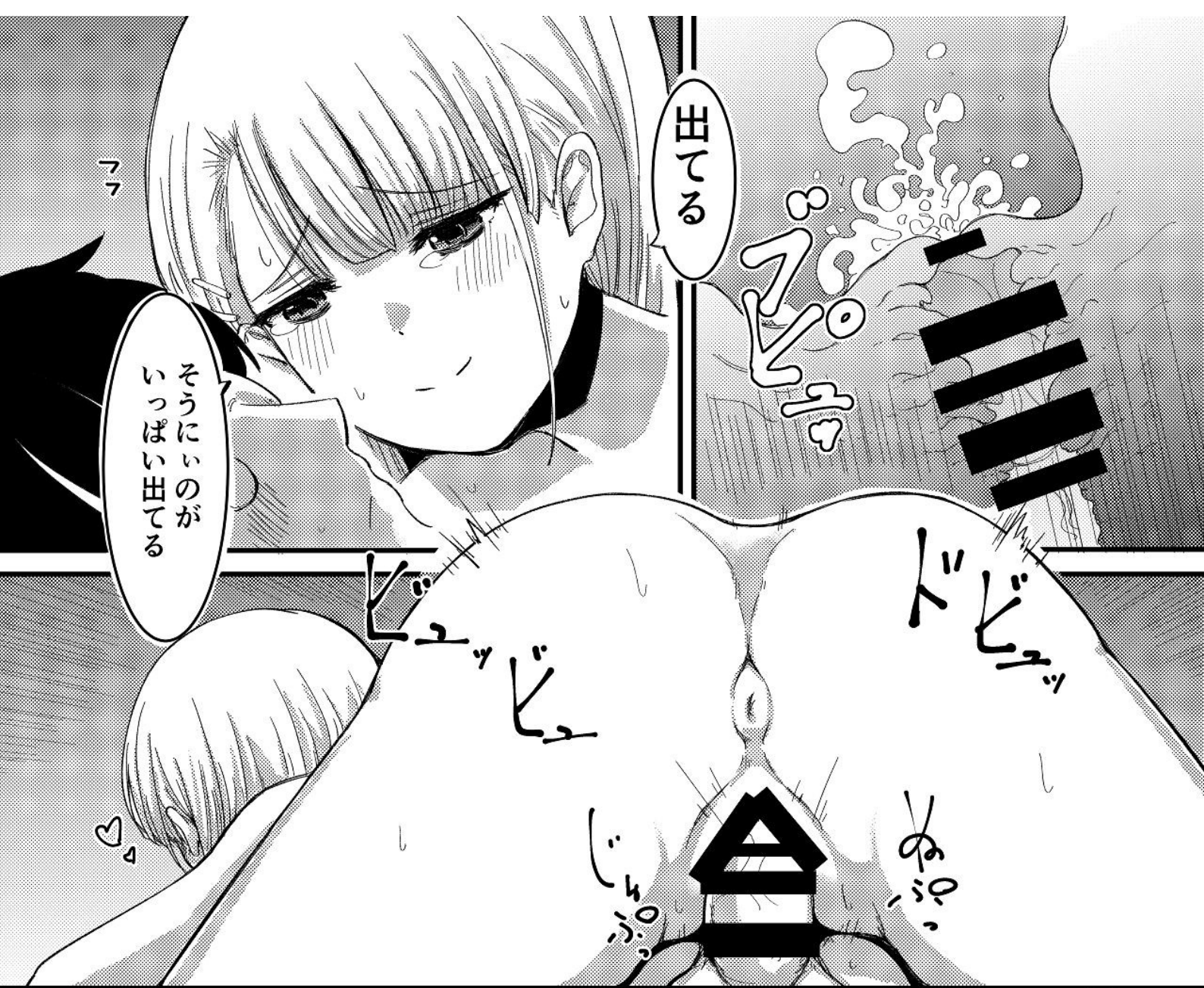
そうに

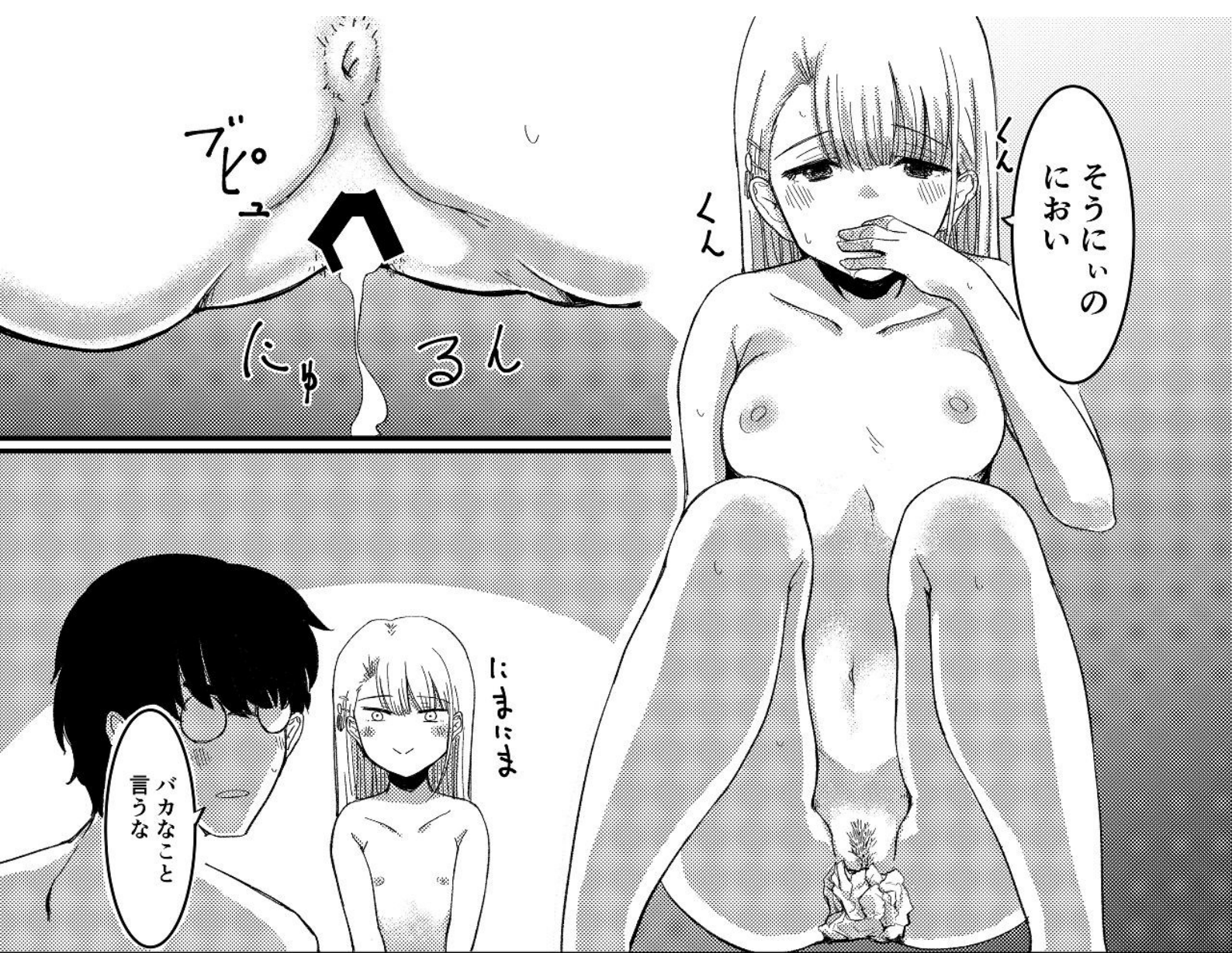
もっと欲しいよ

こいつに出して

濃くて
ドロドロした奴が
欲しいの

私に出して





19





兄ちゃん参上!

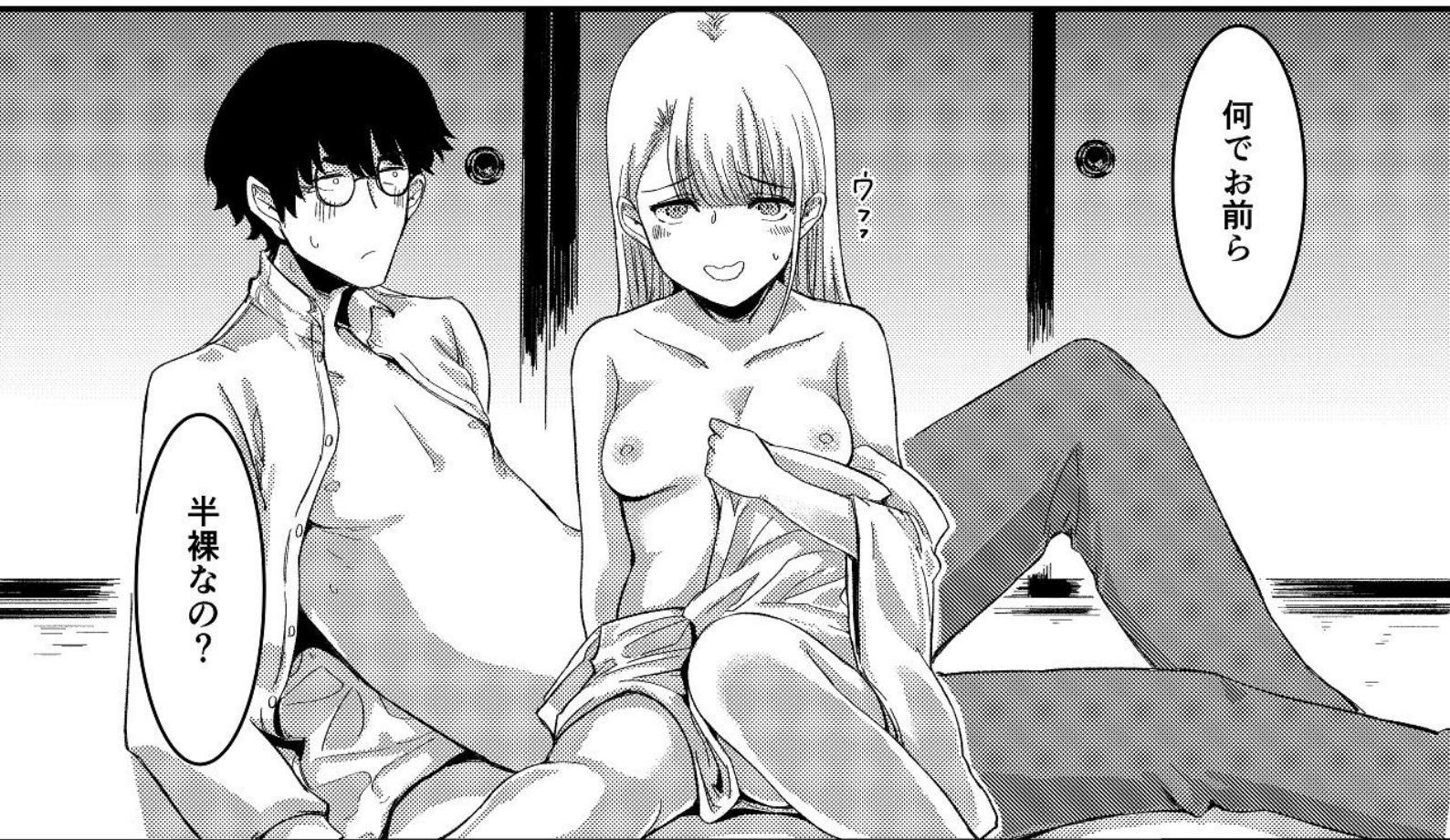


今、帰ったぞ

かのこ土産に菓子買ってきたぞ!

ズッズッズッ

ガバッ



何でお前ら

ウフッ

半裸なの?



!!?

ガッ

小説家の先生から
変な遊び教わったな
俺も混ぜろ

スルッ

いや脱ぐな!!



宗一

お前...



よかったな
かのこ



冗談だよ
結婚相手は選べないけど

愛する気持ちは
自由さ

21



そういうのは
思っても口に出すな

ちんちん
丸出したから台無し



よっちゃん

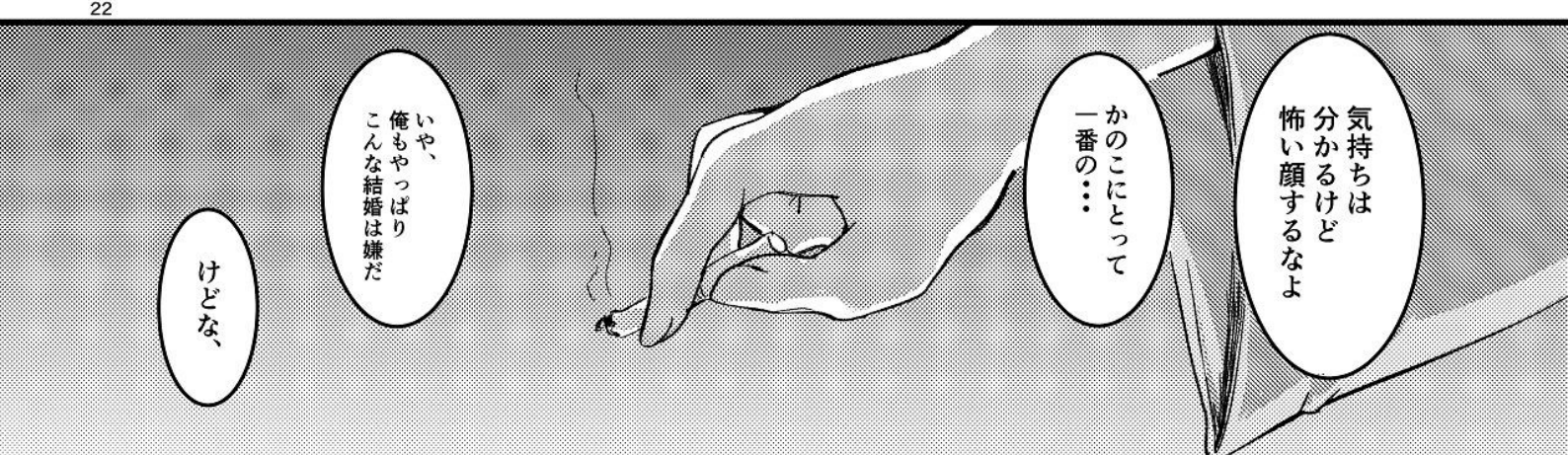
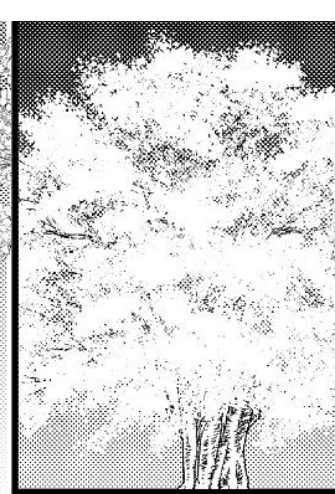
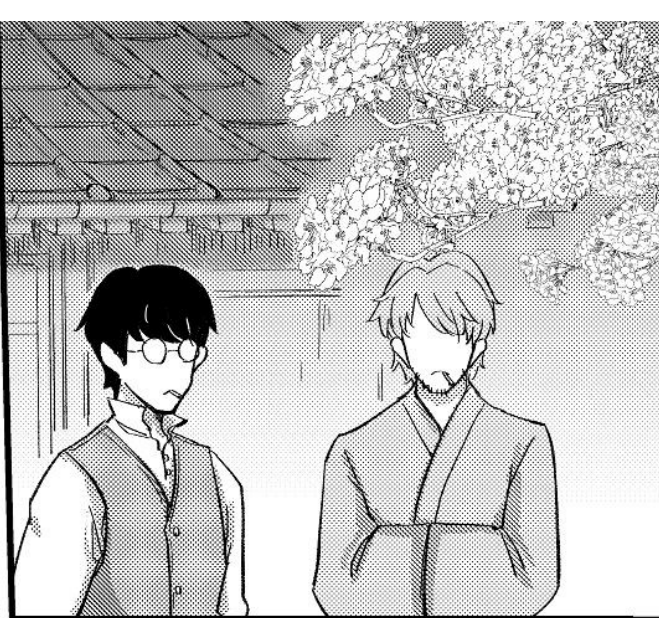
うっ、



宗一
タバコに付き合え

裸のままで
来るなよ

まず
お前がズボンを穿け





家は何かに
崇られているんだと思う

家の家系で
白髪に生まれた子は

次第に色狂いになって
周りを巻き込んで
心が壊れていく



あいつ
戸籍もないんだ

家の習わしで
白髪の子は災いをもたらすから
世間から隠すことに
なっている

死ぬまで座敷に
軟禁するか
もしくは有力者に嫁ぐ
ことになっている

23



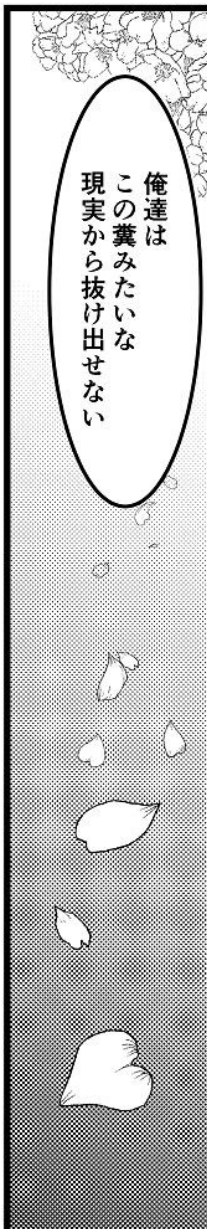
お前にも
俺にも

変な気は起こすなよ

けど、

兄としてお願いだ
しばらくの間
かのこを愛してくれ

無常かもしれないけれど
心地の良い夢すら
かのこに渡せないのは
辛すぎる



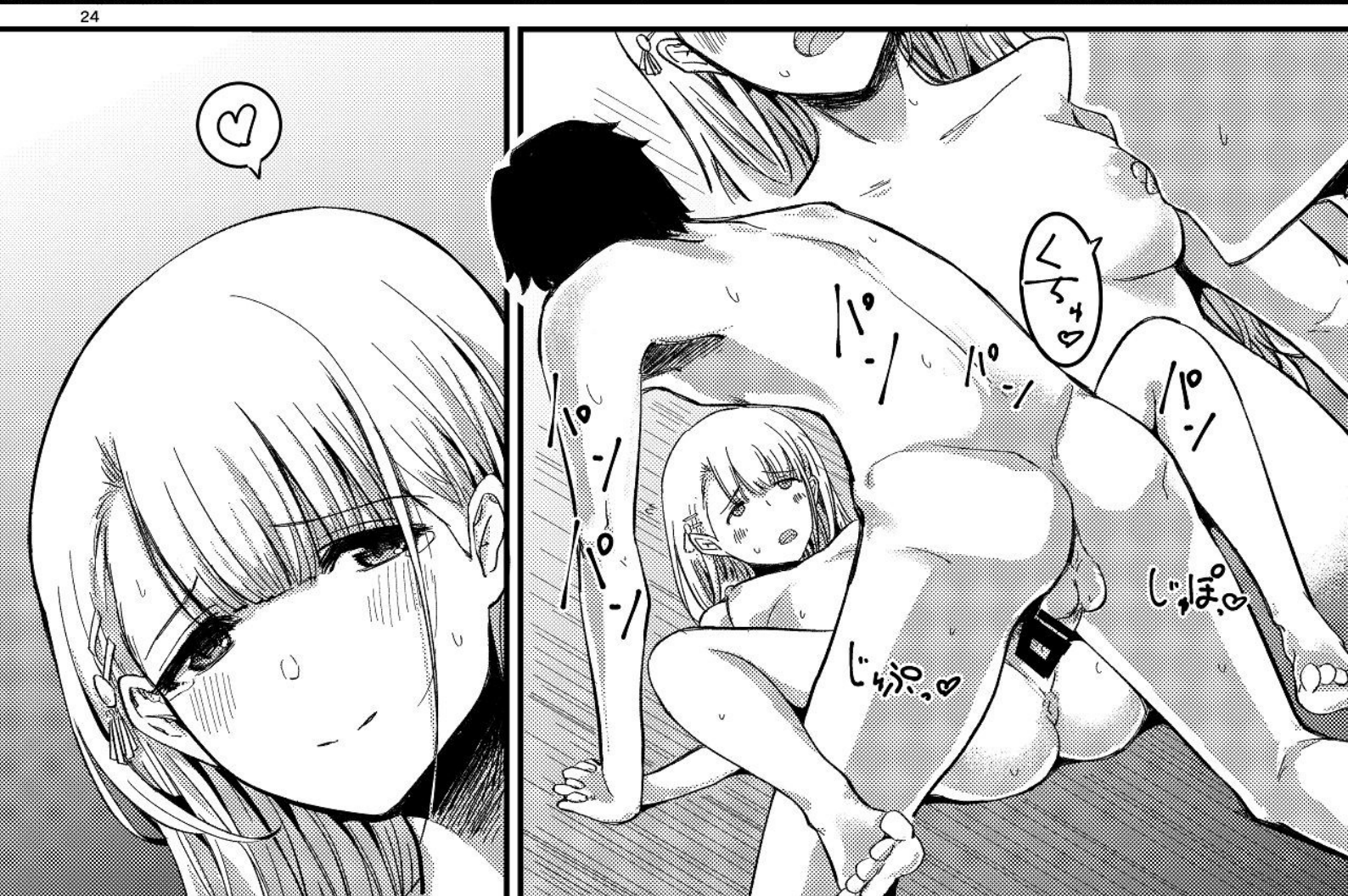
俺達は
この糞みたいな
現実から抜け出せない

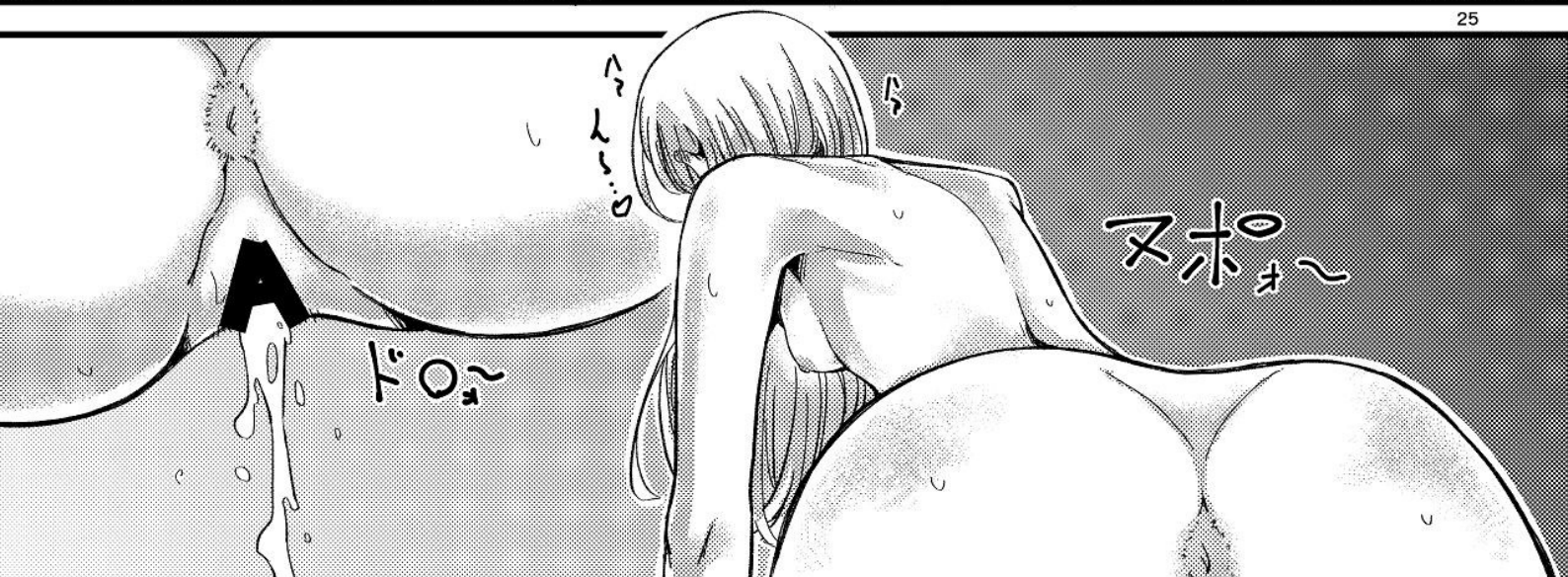
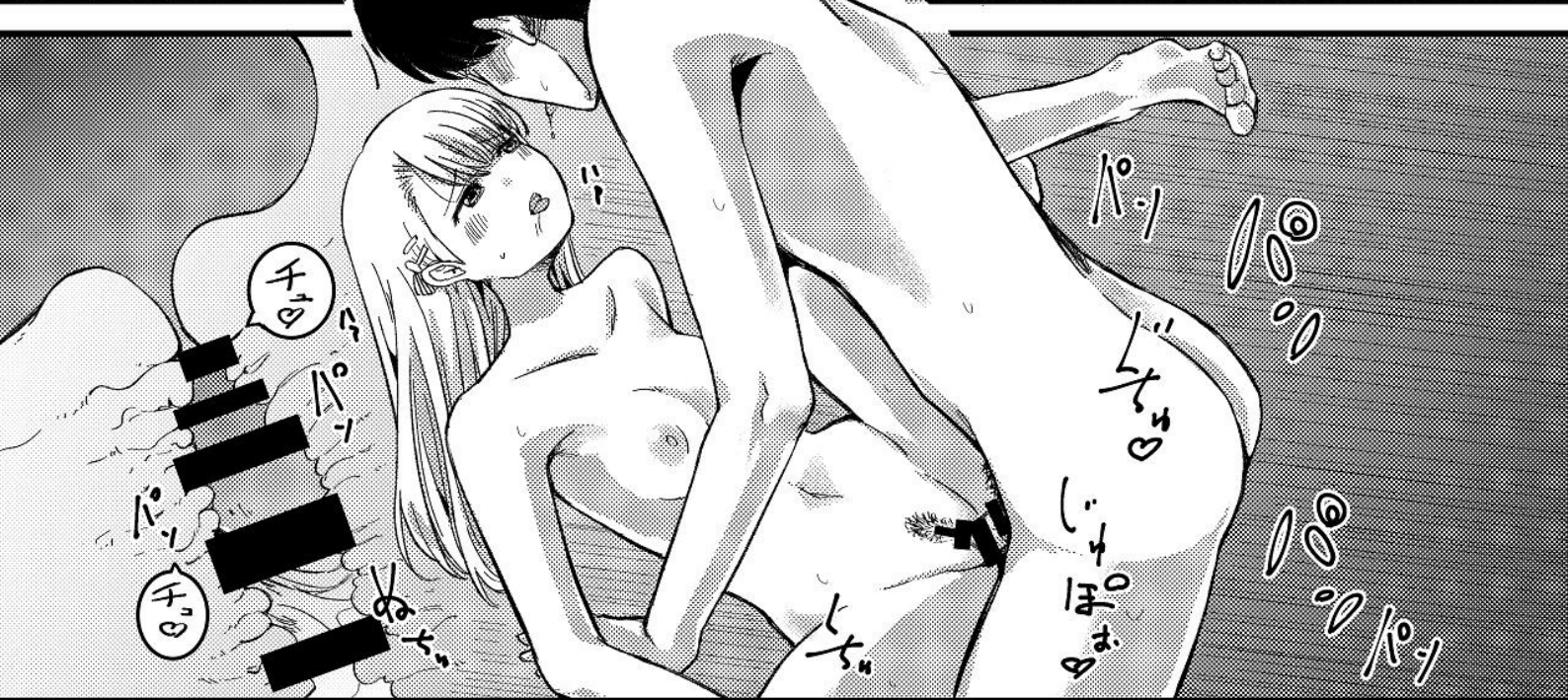


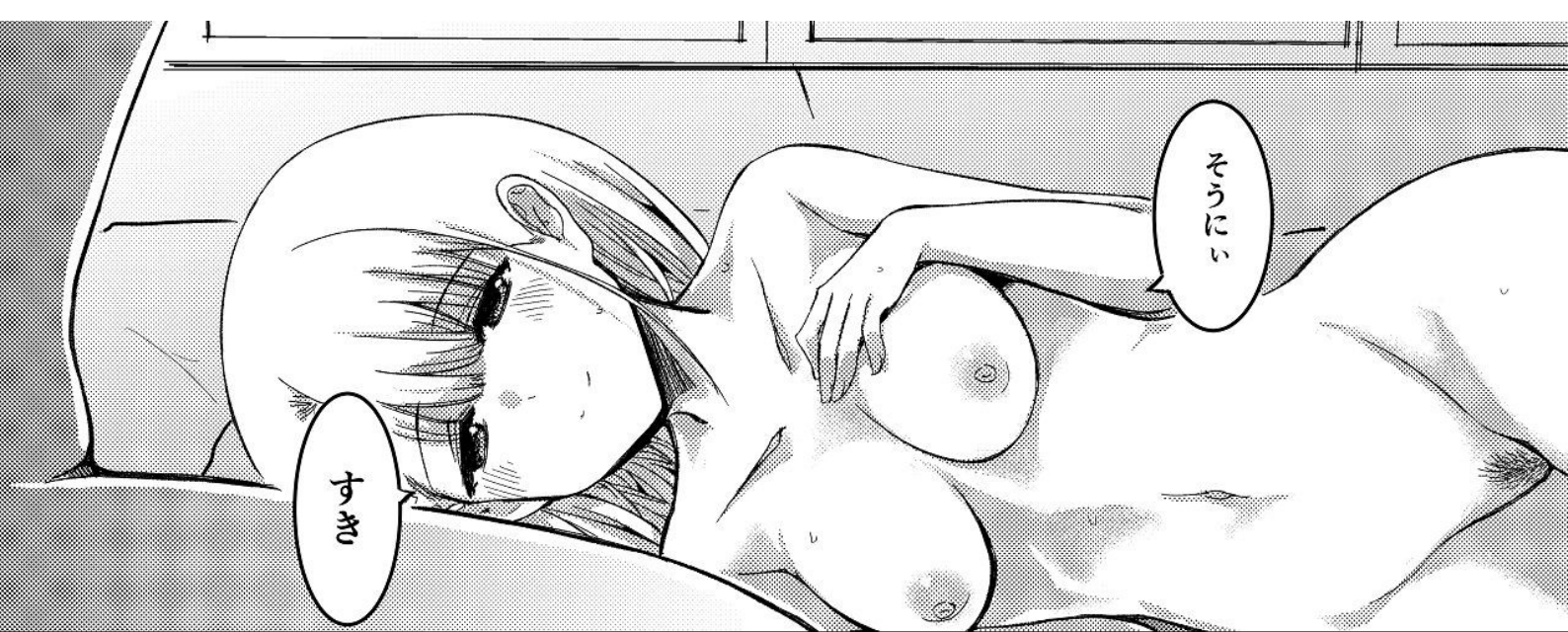
変態の有力者に渡せば
災いを持って
いってくれるし

逆に
見返りがもらえる

人を畜生のように
扱う糞みたいな話さ





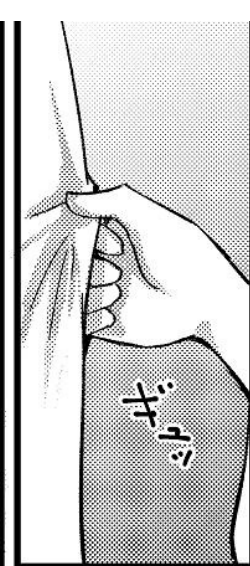


26



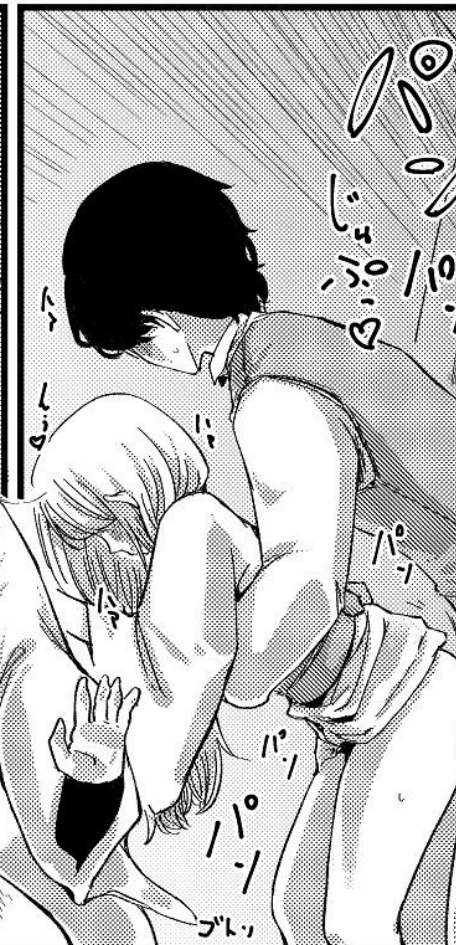


そうにい
ハート♡



そうにい
すごい速度で
景色が流れている

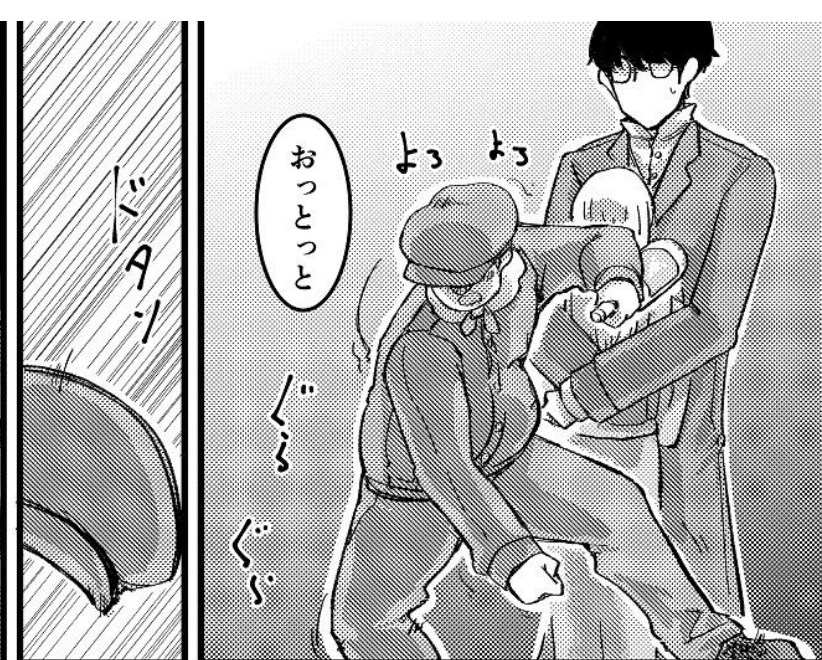
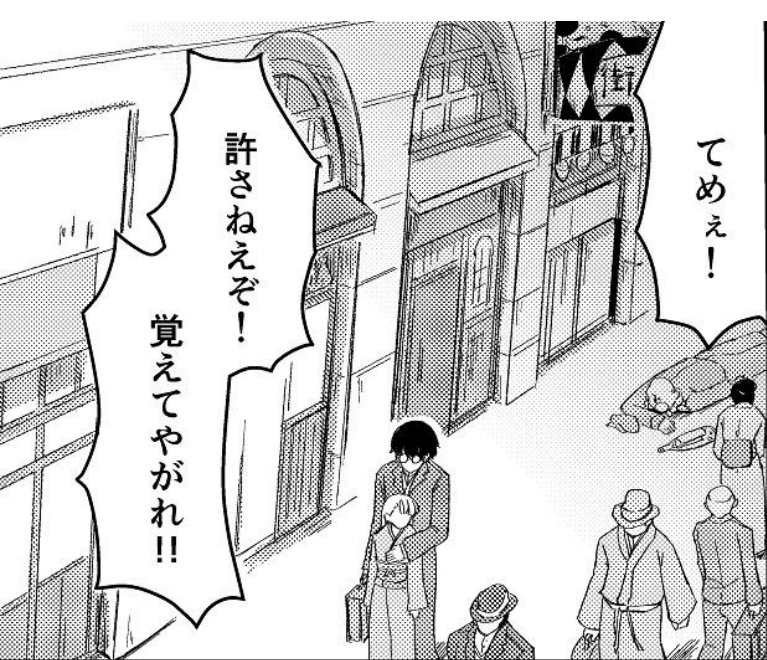
この時、
都会に
近代的な場所に
逃げれば何とかなると
思うほど僕は子供だった



おっ
なんだやんのか
こちとら辞めても
帝国軍人様だぞ

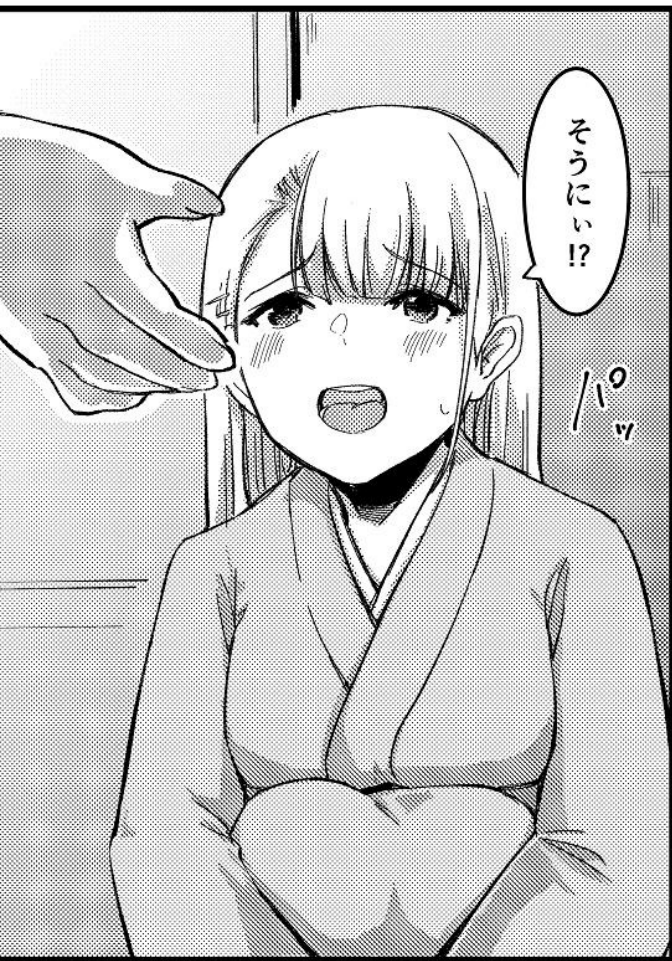


やけるねえ
手なんかつないじやって
嬢ちゃん
オジサンにお酌してよ

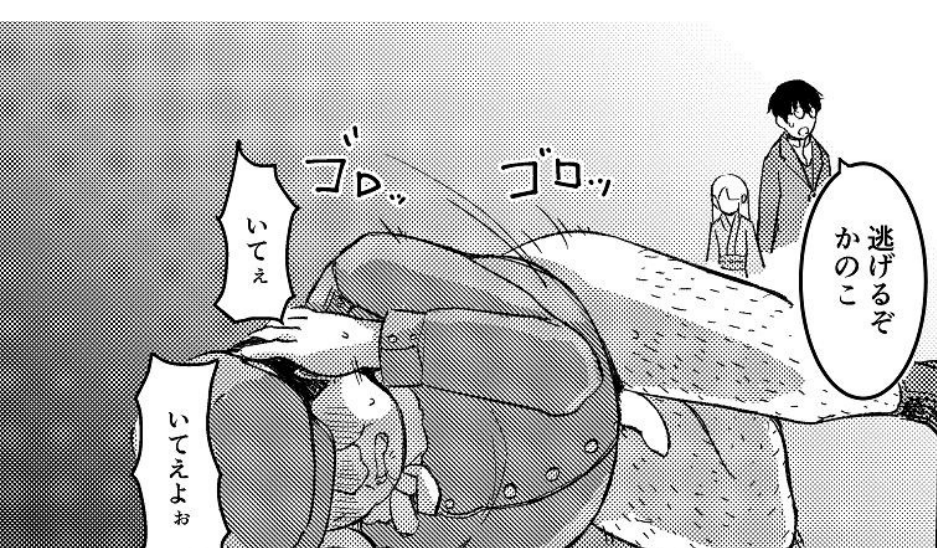


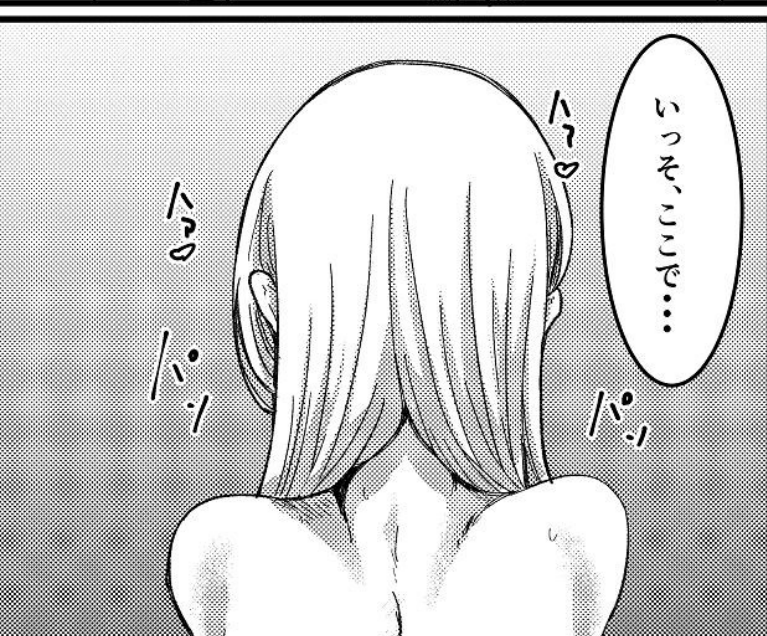
28

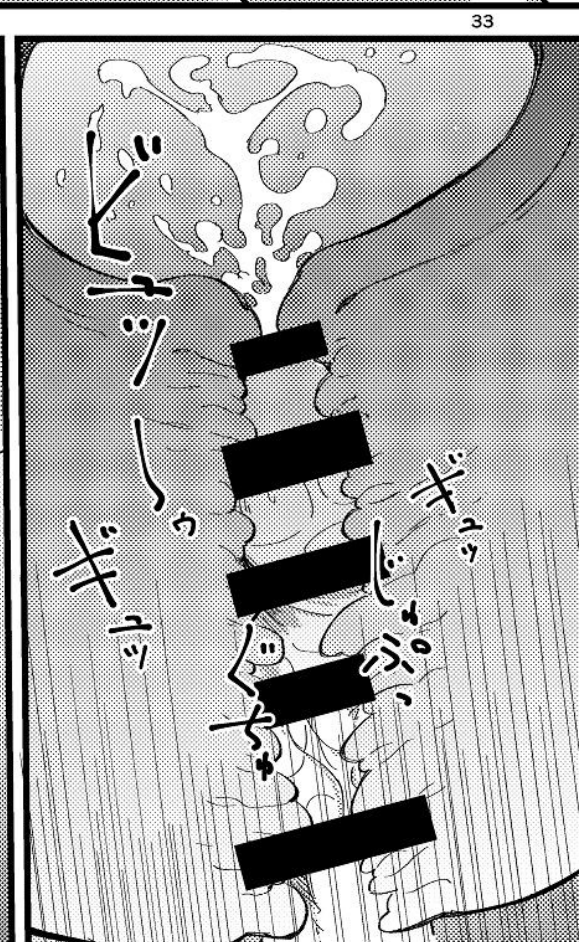
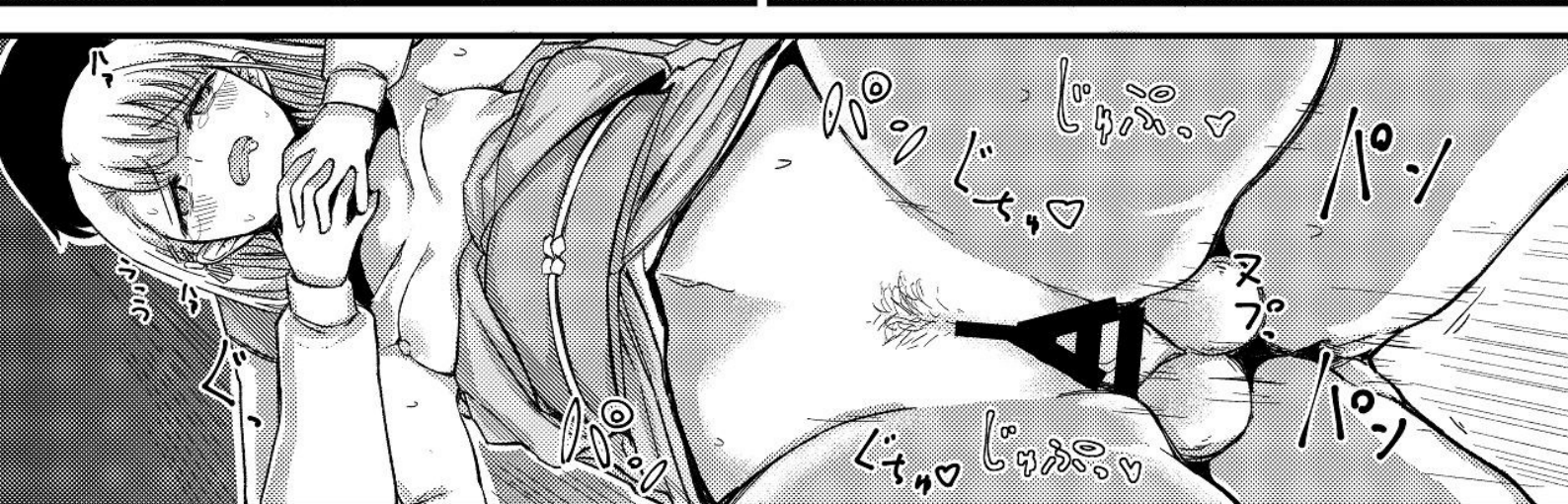
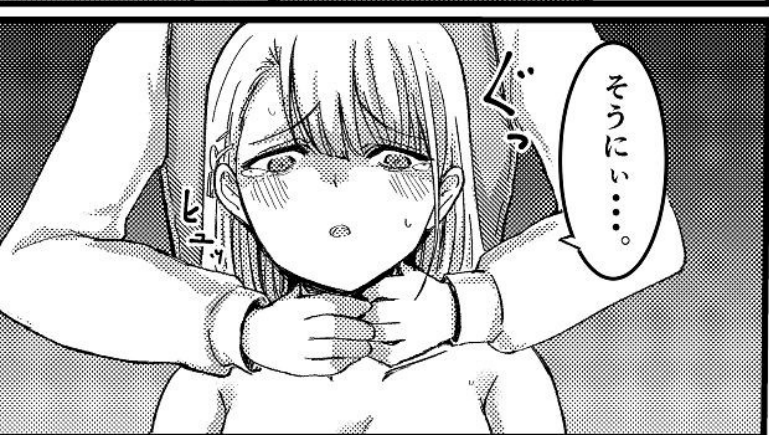


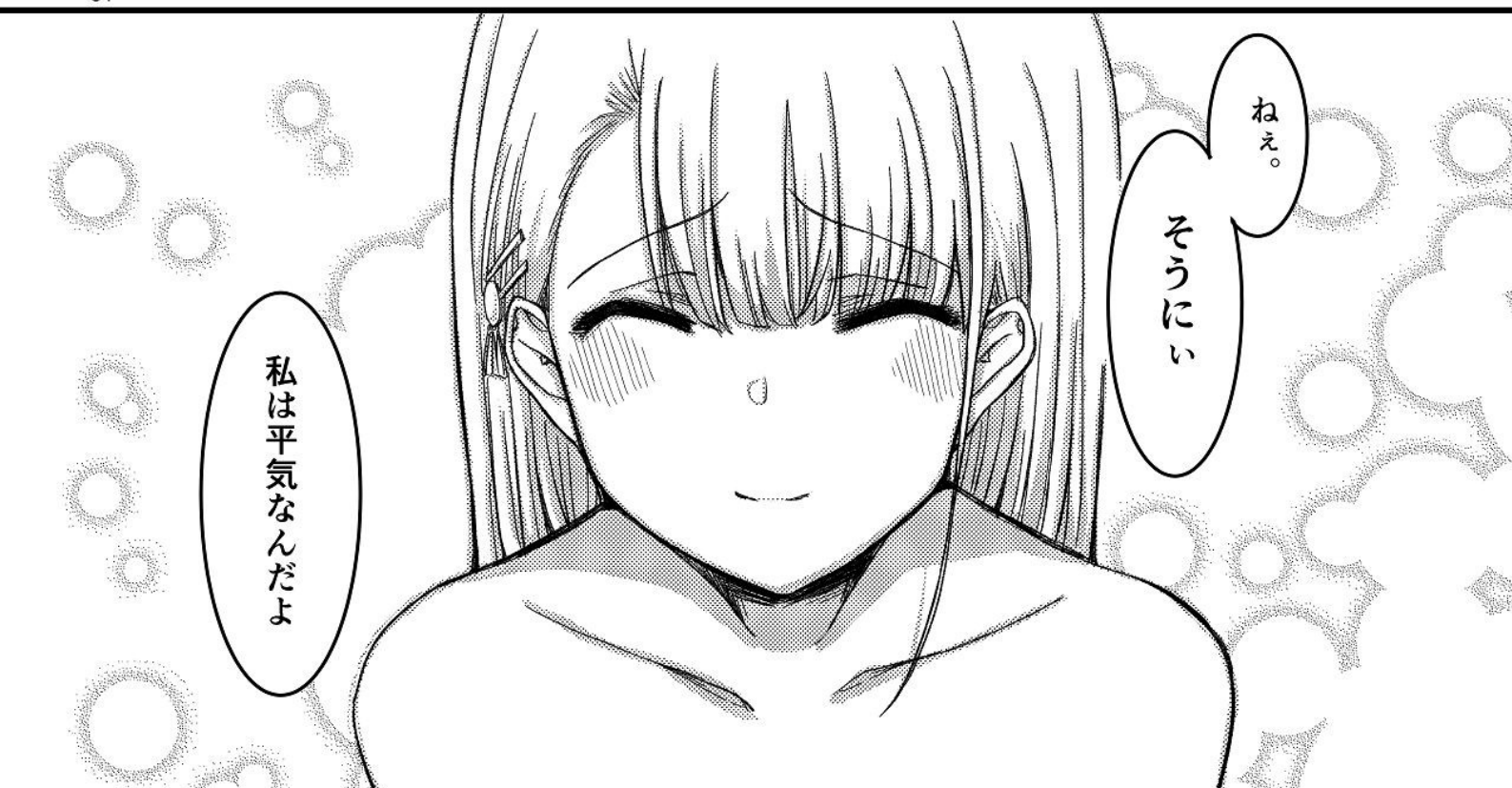














ああ、君が
あの宗一君か

いつも
お手紙ありがとう
楽しく読ませて
もらっているよ



僕はさあ
真面な人間じゃないから
思うんだけどさ

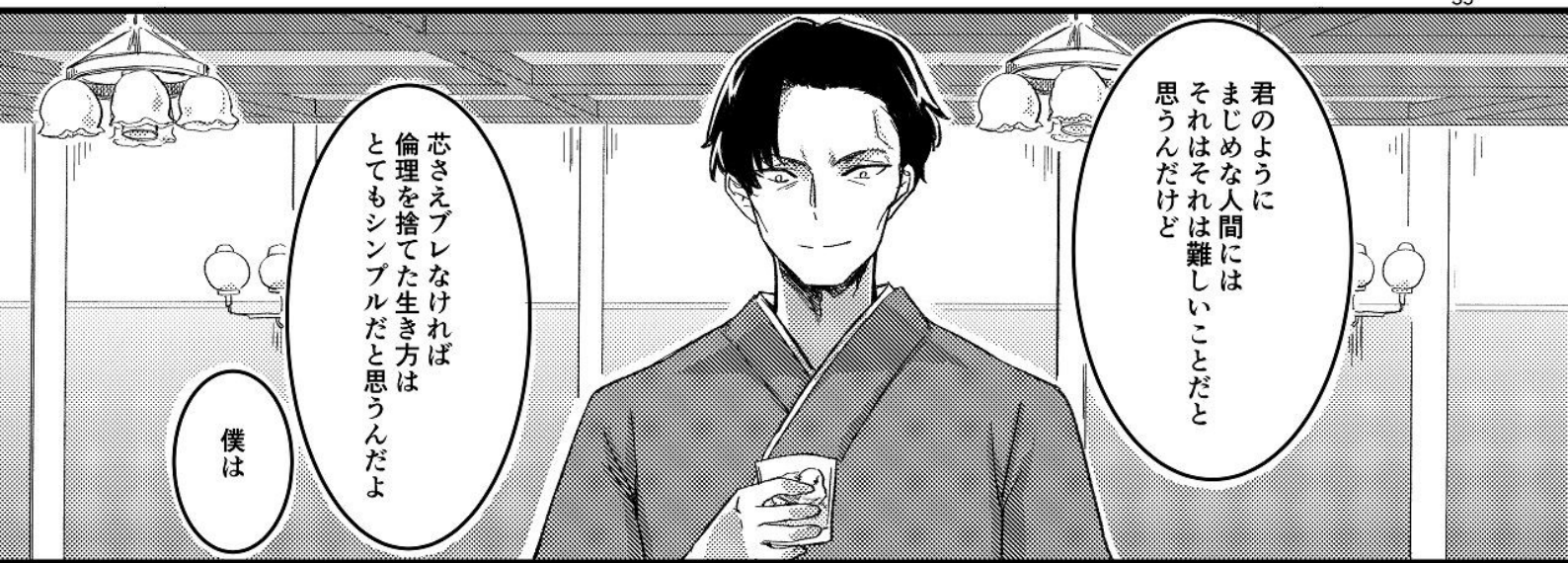
君も狂ってしまえば
簡単だと思うんだ



君は
小説のような生き方を
しているみたいだね

カラシ

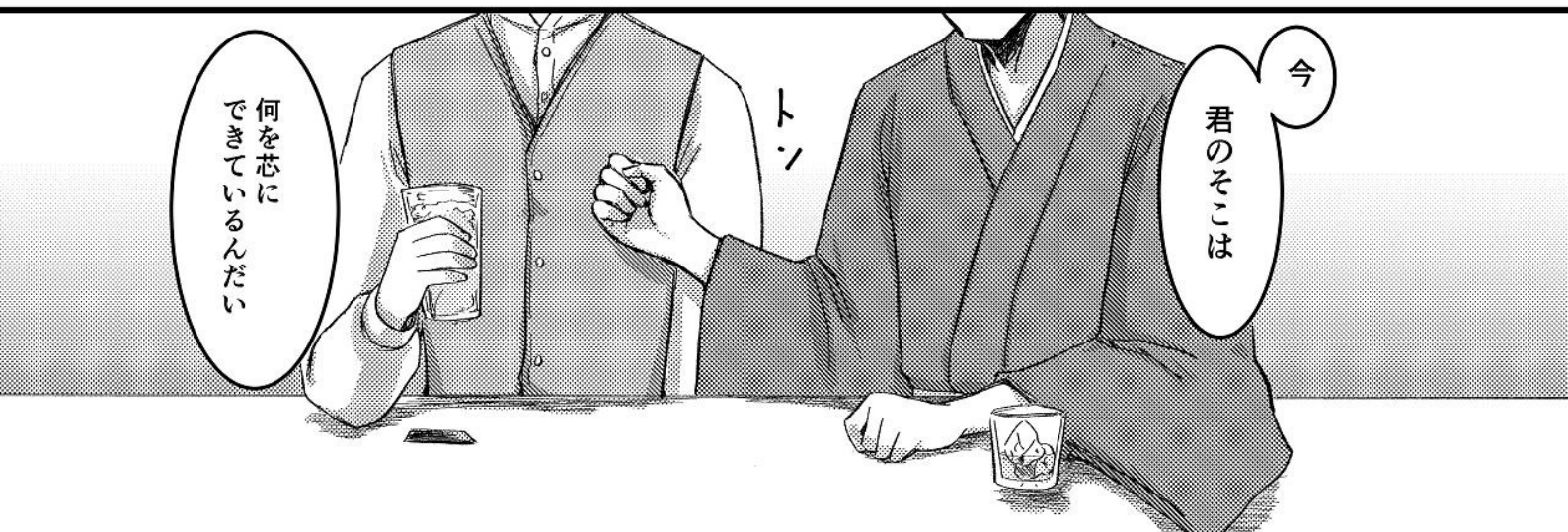
35



君のように
まじめな人間には
それはそれは難しいことだと
思うんだけど

芯さえブレなければ
倫理を捨てた生き方は
とてもシンプルだと思うんだよ

僕は

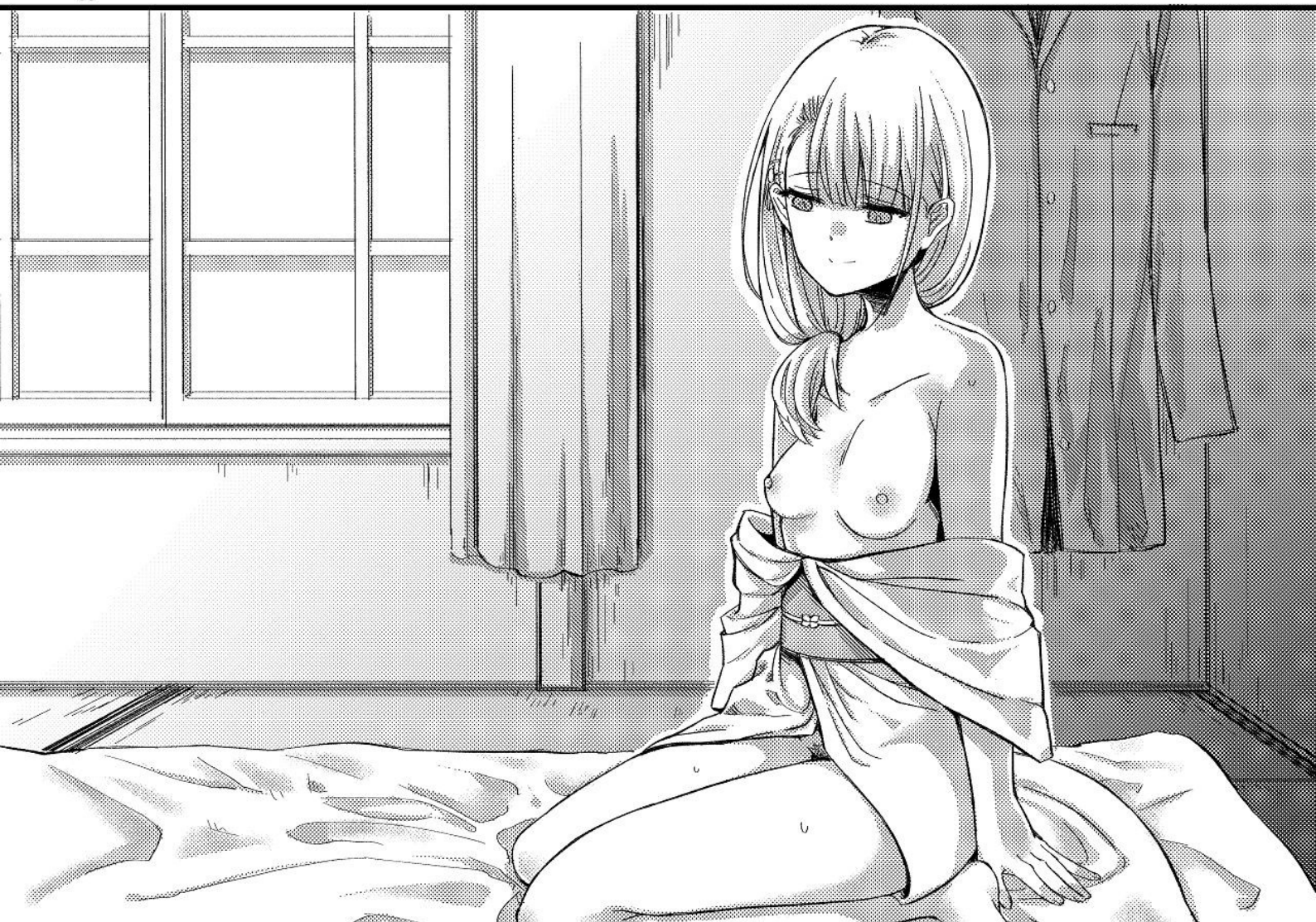


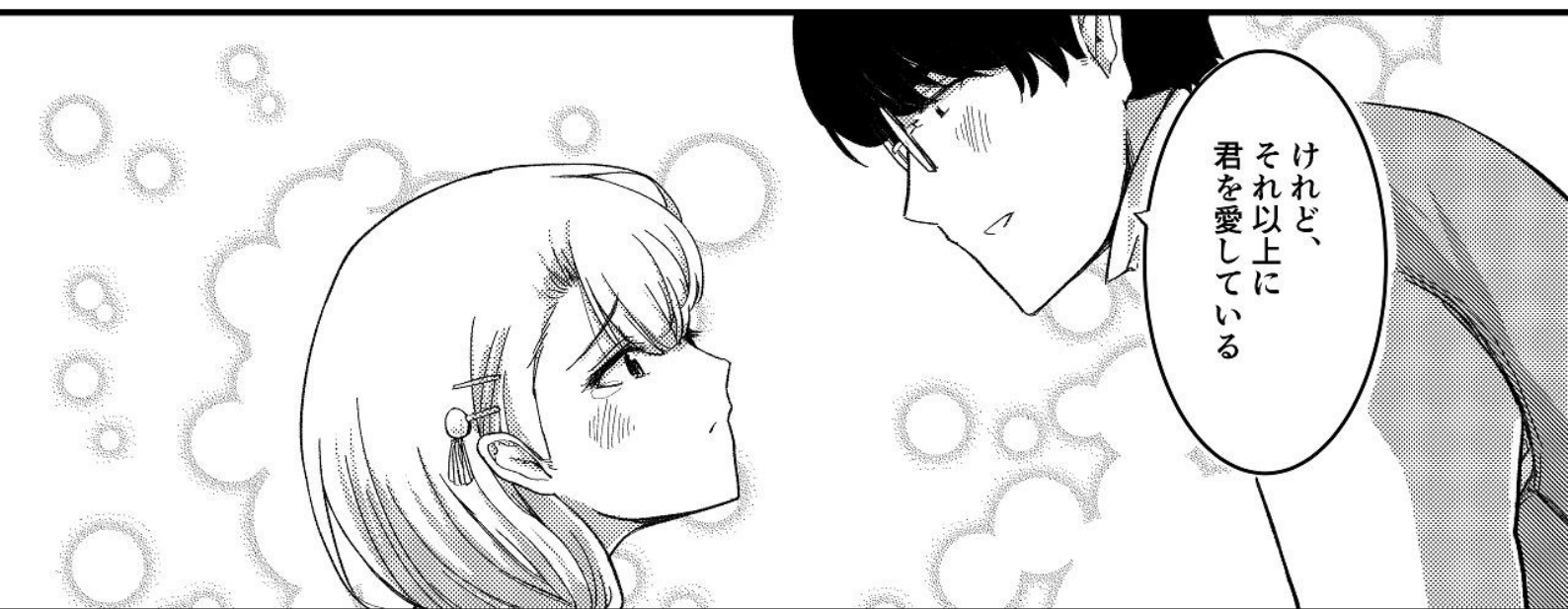
君のそこは

今

トン

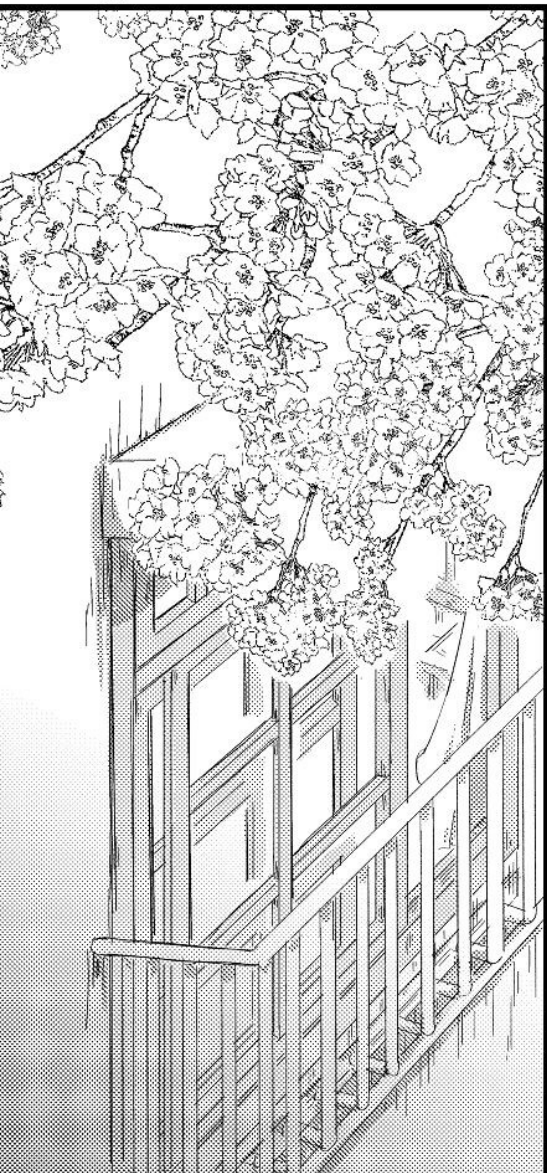
何を芯に
できているんだい







38



奥付

桜の下には死体が埋まっている

発行日
令和5年5月5日
COMITIA144

発行者
サークル 幻想影燈籠
amidara

印刷
有限会社 ねこのしっぽ

連絡先
amidara56@gmail.com

無断転載禁止

あとがき

こんにちは、始めまして、amidaraです。オリジナルの同人誌を15年ぶりぐらいに出しました。お手に取って頂きありがとうございます。

助けてやれなかった。

この話は緩いバットエンドです。最後は報われる話を描くようにはしているのですが、それをやると呪い解除とかファンタジーが強くなるので無理でした。真綿で絞殺される二人が感じる瞬間的な幸せは最後は毒のように苦しめる物でも、感じている瞬間は幸せである、真実だって、そんな感じの報われ方でこの話は終わりです。

かのこが何故、あんなにも奔放なのかというと、そこはファンタジー要素でして、それはそうなの。心の病を患う事が宿命として定められ、しかも、それがおかしい事だと教わらなかった子がかのこです。

この作品を描くにあたって、私の性癖、化け物が好きってのがありまして、淫乱なロリは私にとっては存在してはいけないもの、つまり化け物なので、Hなのではと思ったのが制作の切欠です。

化け物として存在していたかのこが、宗一に連れられて町に下って人になってしまう。けれど、かのこは化け物なので助からないのです。

こんな辛い話を描くつもりはなかったんですけど、描き終わって辻褄を合わせる考察を考えたらこういう話だったんだ、となりました。

最初はコロナでイベントもなくなって、好き勝手にオリジナルのエロ漫画に挑戦してみるか、と軽いノリで作ったハズです。制作期間に区切りが無いからページ数も好きなだけだった。

出来た物はゴリゴリに趣味を詰め込んだ、エロ漫画と胸を張って言えないものでした。コミティアでしか出せない。DLサイトで売るなら誰に向けて売るのがいいという。

これは私向けです。

この作品、終盤に寝取られシーンがありまして、あの帝国軍人と言っている負け犬、本当に嫌いで、自分で描いていて自分のキャラなのに愛せないって初めて思いまして、描いている時も、チェックで読み直している時も殺してやろうかと。本当に嫌い。描いていて、寝取られ辛いってダメージを負いながら描きました。

最後に出てくる作家先生は言葉もモチーフも適当なので、よろしくお願い致します。真面に生きることが出来るならそれが一番よ。

そんなこんなで、15年ぶりのオリジナル同人誌でした。私、オリジナルを描こうとすると、キャラの

掘り下げで家系図を作る癖がありまして、桜の下に埋まっている人と爺さんの話を描きたいような誰向けにもならないから、妄想で済ませるべきな様なそんな感じです。人間ドラマが強い、シリアスエロ漫画なんて本当、趣味のチラシの裏だし。なるだけなら、万人受けしたい。

本当、ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

amidara